

関連イベント

【記念講演会】

● 3月7日(日)

「小倉遊亀 その人と作品」

講師:高梨純次氏(滋賀県立近代美術館学芸課長)

14:00~15:30 当館ミュージアムホール

(観覧券の半券提示により聴講無料)

【記念朗読会】

● 3月21日(日)

谷崎潤一郎《少将滋幹の母》

～小倉遊亀の挿絵とともに味わう谷崎の世界～

解説:篠原嘉彦氏(谷崎潤一郎記念館事務局長)、

朗読:朗読グループRST

14:00~16:00 当館ミュージアムホール

(観覧券の半券提示により聴講無料)

【学芸員による解説会】

● 2月27日(土)、3月6日(土)、3月20日(土)、4月3日(土)

16:00~16:45

当館レクチャールーム(聴講無料)

【ボランティアによる展示解説会】

当館ミュージアム・ボランティアが展示の見どころを

ご案内します。

● 会期中毎週日曜日

11:00~11:15

当館レクチャールーム(聴講無料)

【こどものイベント】(詳しくは最終ページをご覧ください)

● 2月27日(土) 13:30~15:30

● 2月28日(日) 10:30~12:30

「日本画を描こう!」

申し込み制・お問い合わせ:078-262-0908

(こどものイベント係まで)



没後10年 小倉遊亀展

とうとう絵かきになってしまった。

Ogura Yuki Retrospective 2月18日(木)~4月4日(日)

《娘》1951年 滋賀県立近代美術館蔵



《椿花》1969年 高島屋史料館蔵

明治28年滋賀県大津に生まれ、日本美術院を拠点に、身近な人物や身の周りの静物を、伸びやかな筆致と豊かな色彩で生き生きと描き出した日本画家小倉遊亀。描く対象はすべて仏様の姿ですと語る遊亀は、花にも草にも人物にも等しくあたたかい眼差しを注ぎました。豊かな感性と鋭い観察眼によってとらえられたその世界は、没後10年の時を経ていまなお瑞々しい輝きを放っています。展覧会では、大正から平成まで80年余りにおよぶ画業を、代表作を中心に約100点の作品で構成、小倉遊亀の創作の軌跡をたどりながら、作品そして画家の魅力に迫ります。春間近のこの季節、小倉遊亀の日本画の世界を心ゆくまでご堪能ください。



《虫籠》1931年 (社)佐保会蔵

没後10年 小倉遊亀展 とうとう絵かきになってしまった。

一般1,200(1,000)円・大、高生900(700)円・中、小生500(300)円

()内は前売りおよび20名様以上の団体料金